



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月8日
東

上場会社名 スズデン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7480 URL <https://www.suzuden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 敏雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中野 諭 (TEL) 03-6910-6801
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月13日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 67,439 | 13.0 | 4,399 | 44.1 | 4,756 | 41.3 | 3,309 | 41.3 |
| 2022年3月期 | 59,690 | — | 3,051 | 129.1 | 3,367 | 115.5 | 2,342 | 163.4 |

(注) 包括利益 2023年3月期 3,374百万円(46.3%) 2022年3月期 2,306百万円(144.1%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | 236.74 | — | 18.3 | 14.4 | 6.5 |
| 2022年3月期 | 167.82 | — | 13.8 | 11.4 | 5.1 |

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。このため、当該基準等適用前の売上高に対する増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 33,370 | 18,610 | 55.8 | 1,329.89 |
| 2022年3月期 | 32,736 | 17,627 | 53.8 | 1,261.67 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 18,610百万円 2022年3月期 17,627百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | 2,897 | △897 | △2,085 | 6,068 |
| 2022年3月期 | 426 | △696 | 497 | 6,137 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | — | 25.00 | — | 97.00 | 122.00 | 1,717 | 72.7 | 10.0 |
| 2023年3月期 | — | 76.00 | — | 114.00 | 190.00 | 2,676 | 80.3 | 14.7 |
| 2024年3月期(予想) | — | 53.00 | — | 61.00 | 114.00 | | — | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 26,000 | △21.5 | 1,250 | △42.9 | 1,410 | △40.9 | 910 | △43.1 |
| 通期 | 55,400 | △17.9 | 2,710 | △38.4 | 3,060 | △35.7 | 1,980 | △40.2 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期 | 14,652,600株 | 2022年3月期 | 14,652,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期 | 658,387株 | 2022年3月期 | 681,287株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2023年3月期 | 13,979,305株 | 2022年3月期 | 13,956,612株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 67,358 | 14.0 | 4,446 | 46.5 | 4,847 | 44.0 | 3,432 | 51.5 |
| 2022年3月期 | 59,110 | — | 3,035 | 125.9 | 3,367 | 113.3 | 2,265 | 120.9 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2023年3月期 | 245.55 | | — | | | | | |
| 2022年3月期 | 162.32 | | — | | | | | |

(注)2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。このため、当該基準等適用前の売上高に対する増減率は記載しておりません。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--|--------|--|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 銭 | | |
| 2023年3月期 | 33,337 | | 18,591 | | 55.8 | 1,328.48 | | |
| 2022年3月期 | 32,521 | | 17,449 | | 53.7 | 1,248.94 | | |

(参考) 自己資本 2023年3月期 18,591百万円 2022年3月期 17,449百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 中長期的な会社の経営戦略 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (会計方針の変更) | 12 |
| (追加情報) | 12 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |
| 4. その他 | 16 |
| (1) 仕入及び販売の状況 | 16 |
| (2) 役員の変動 | 16 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年4月1日～2023年3月31日)における当社グループを取り巻く環境は、資源価格の高騰や急速な円安の進行による物価上昇等により先行きに対する景気の不透明感が残ったものの、足元では企業の生産活動や設備投資需要は堅調に推移いたしました。

こうした環境の下、当社では社員の健康と安心安全を最優先とした対策を行いながら、「もの造りサポーターティングカンパニー」として、もの造りを支えるために在庫の拡充や受発注体制の強化並びに物流体制の維持に努め、商品の安定供給に努めてまいりました。

当社グループの業績につきましては、主力販売先である電気機器・電子部品・産業機械業界において、部材不足による供給懸念が残ったものの、第1四半期末以降から商品の供給体制は回復傾向となり、売上増に繋がりました。また、第4四半期以降、当社の主力販売先である半導体製造装置メーカーの主要顧客において、世界的な景気後退による半導体需要の減速により、先行きの見通しが不透明な状況が続いておりましたが、当期末において、仕入先様からの入荷量が当初の想定以上に増加したことが業績に寄与し、売上・利益ともに前期を上回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は67,439百万円(前期比13.0%増)、営業利益は4,399百万円(前期比44.1%増)、経常利益は4,756百万円(前期比41.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,309百万円(前期比41.3%増)と前期に比べ増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間から、もの造り機能の強化及び顧客要求事項に対応するため、大和工場(宮城県黒川郡)を増設し、半導体製造装置向けにアルミフレームの組立てを開始しており、セグメントを「製造事業」に区分しております。

それに伴い、第1四半期連結会計期間より、セグメントを従来の「電機・電子部品販売事業」の単一セグメントから、「電機・電子部品販売事業」「製造事業」の2セグメントに変更しております。

(電機・電子部品販売事業)

電機・電子部品販売事業における売上高は67,258百万円(前期比12.7%増)、営業利益は4,511百万円(前期比47.8%増)となりました。

なお、商品分野別の売上高につきましては、次のとおりであります。

①FA機器分野

RFID、センサー、グラフィック操作パネル等が増加し、売上高は41,168百万円(前期比18.0%増)となりました。

②情報・通信機器分野

産業用パソコン、OAアクセサリ、ソフト等が増加し、売上高は5,304百万円(前期比12.3%減)となりました。

③電子・デバイス機器分野

コネクタ、スイッチング電源、ノイズフィルター等が増加し、売上高は8,680百万円(前期比14.0%増)となりました。

④電設資材分野

積算電力計、端子台、電線ケーブル等が増加し、売上高は12,105百万円(前期比8.6%増)となりました。

(製造事業)

製造事業における売上高は181百万円、営業損失は112百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて634百万円増加し、33,370百万円となりました。
 流動資産は、前連結会計年度末に比べて275百万円増加し、27,177百万円となりました。
 これは主に、電子記録債権の増加874百万円、売掛金の減少605百万円によるものであります。
 固定資産は、前連結会計年度末に比べて359百万円増加し、6,192百万円となりました。
 これは主に、松本事業所の建替等に伴う建物及び構築物の増加256百万円によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べて349百万円減少し、14,759百万円となりました。
 流動負債は、前連結会計年度末に比べて658百万円減少し、13,266百万円となりました。
 これは主に、支払手形及び買掛金の減少631百万円によるものであります。
 固定負債は、前連結会計年度末に比べて308百万円増加し、1,492百万円となりました。
 これは主に、長期借入金の増加325百万円によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べて983百万円増加し、18,610百万円となりました。
 これは主に、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益の計上3,309百万円、配当金の支払2,435百万円によるものであります。なお、自己資本比率は55.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から68百万円減少し、6,068百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は2,897百万円の増加となりました。（前連結会計年度における資金は426百万円の増加）
 これは主に、税金等調整前当期純利益4,775百万円、法人税等の支払額1,536百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は897百万円の減少となりました。（前連結会計年度における資金は696百万円の減少）
 これは主に、有形固定資産の取得による支出791百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は2,085百万円の減少となりました。（前連結会計年度における資金は497百万円の増加）
 これは主に、長期借入れによる収入500百万円、配当金の支払額2,436百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な景気後退による半導体需要の減速、ウクライナ情勢や米中対立等の外部環境における地政学的リスクなど引き続き不透明な状況は続くと思っております。

売上高につきましては、当社の主要顧客において、生産部材の在庫が積み上がったことによる受注減と併せて最終ユーザーでの設備投資の調整局面による需要減を想定しております。利益面につきましては、DX化に対応するための先行投資、電気代の高騰、輸送費や燃料費等の諸経費の増加を想定しており、通期業績としては減収減益を見込んでおります。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社の状況につきましては、月次の売上高（単体）について開示しております「売上高推移速報」をご参照ください。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

(5) 中長期的な会社の経営戦略

企業価値向上を目指す経営戦略を基本に、「もの造りサポーターカンパニー」として、もの造りの現場（工場などの生産現場・建築現場等）への設備・機器・部品・サービス等の供給とサポートを行ってまいります。

また、品質・生産性・効率化の更なる向上をめざし、DX推進による業務や物流機能の効率化等、IT化とロボット化を中心とした投資に加え、教育体系を充実させ社員一人ひとりがレベルアップできるよう取り組み、持続的な成長及び企業価値向上に努めてまいります。

① 営業戦略

成長市場と成長分野への経営資源の選択と集中を行うとともに「顧客第一」の精神で商圏の拡大・拡充・深耕による業績の拡大を図ってまいります。

重点的な取り組みとして、ロボットやIoT商材の販売による人手不足の解消や生産性の向上・品質管理の向上を図り、スマート工場の構築に向けた提案を進めてまいります。次に、エンジニアリング部門として設置したロボット・ソリューション課では、ロボットなどの機器選定からデータ蓄積及び活用までお客様の生産現場のスマート工場化に向けたトータルソリューションを提供してまいります。更に、AI、自動運転等の実用化及び技術開発の加速に伴い、今後も半導体業界では成長が見込まれることから、半導体製造装置や電子部品関連のお客様へ経営資源を集中させ注力してまいります。また、これまで中長期的に力を入れてきた医療機器関連市場、医療現場・介護関連市場をはじめとするメディカル市場においては、お客様のご要望に応じた提案を実行することで更なる業績の拡大を図ってまいります。そして、買い方の多様化により今後も需要拡大が見込まれるインターネットビジネスにおいては、通販サイト「FAUbon（エフエユーボン）」の機能拡充と取扱商品の拡大を重点戦略とし、業績の拡大を図ってまいります。

なお、大和工場（宮城県黒川郡）は、当社の「もの造り」拠点として端子台・ユニット製品等の組立加工等を行っており、更にもの造り機能の強化及び顧客要求事項に対応するため、同工場を増築し、半導体製造装置向けアルミフレームの組立等を行っております。今後も高付加価値製品の提供と高度なSCM要求に対応できる体制を一層強化してまいります。

② 商品戦略

「もの造りサポーターカンパニー」として、最先端の制御機器や電設資材の提案とともに、「品質、環境（省）、安全」といった生産現場が常に向上を求めているキーワードに対してメカトロニクス商材やセーフティ商材、環境関連商材等の販売を推し進めてまいります。成長分野であるロボット及びIoT分野については、メーカー研修を含め人材の育成による提案力の強化とシステムインテグレーターとの協業や当社エンジニアリング部門との連携による、お客様ニーズに沿った省力化・省人化・IoT化といったソリューション提案を展開してまいります。

オリジナルブランド「Ubon（ユーボン）」では、主力の配線アクセサリや盤内パーツを更に充実するとともに、産業用パソコン等の高付加価値商品や検定キット等の顧客ニーズを先取りした商材の開発を加速し、顧客の利便性向上と収益拡大を図ってまいります。また、更なる顧客ニーズに直結した「もの造り」を進めるため、2023年4月に松本ユーボン工場（長野県松本市）を新設し、「Ubon（ユーボン）」製品の加工や産業用パソコン等の生産を開始しており、今後も生産体制を強化してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先、国内取引先の海外現地法人等であり、また海外からの資金調達必要性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、今後につきましては、特に当社と同じ東京証券取引所市場に上場している他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえた上で、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,148,188 | 6,079,427 |
| 受取手形 | 1,628,772 | 1,377,918 |
| 売掛金 | 10,444,542 | 9,839,417 |
| 電子記録債権 | 4,585,551 | 5,460,448 |
| 商品 | 3,657,056 | - |
| 棚卸資産 | - | 4,048,137 |
| その他 | 441,830 | 375,753 |
| 貸倒引当金 | △3,326 | △3,343 |
| 流動資産合計 | 26,902,616 | 27,177,758 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 4,052,689 | 4,309,676 |
| 減価償却累計額 | △1,602,214 | △1,671,122 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,450,474 | 2,638,553 |
| 土地 | 1,909,493 | 1,909,493 |
| リース資産 | 75,379 | 69,801 |
| 減価償却累計額 | △37,055 | △35,331 |
| リース資産(純額) | 38,323 | 34,469 |
| 建設仮勘定 | 11,000 | - |
| その他 | 221,931 | 235,401 |
| 減価償却累計額 | △156,685 | △162,433 |
| その他(純額) | 65,245 | 72,967 |
| 有形固定資産合計 | 4,474,538 | 4,655,484 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 113,767 | 162,974 |
| 無形固定資産合計 | 113,767 | 162,974 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 394,752 | 551,517 |
| 繰延税金資産 | 459,881 | 427,381 |
| その他 | 425,224 | 429,117 |
| 貸倒引当金 | △34,592 | △33,662 |
| 投資その他の資産合計 | 1,245,265 | 1,374,353 |
| 固定資産合計 | 5,833,572 | 6,192,812 |
| 資産合計 | 32,736,188 | 33,370,571 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,198,414 | 5,566,966 |
| 電子記録債務 | 3,077,472 | 2,929,990 |
| 短期借入金 | 2,000,000 | 2,000,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 41,544 | 100,000 |
| リース債務 | 27,995 | 22,697 |
| 未払法人税等 | 1,002,683 | 948,167 |
| 賞与引当金 | 459,936 | 520,186 |
| 役員賞与引当金 | 211,000 | 320,000 |
| その他 | 905,992 | 858,818 |
| 流動負債合計 | 13,925,038 | 13,266,827 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | - | 325,000 |
| リース債務 | 33,980 | 26,969 |
| 役員株式給付引当金 | 57,010 | 72,296 |
| 退職給付に係る負債 | 927,843 | 905,545 |
| 資産除去債務 | 49,145 | 48,910 |
| その他 | 115,989 | 114,198 |
| 固定負債合計 | 1,183,969 | 1,492,920 |
| 負債合計 | 15,109,008 | 14,759,747 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,819,230 | 1,819,230 |
| 資本剰余金 | 1,558,048 | 1,580,845 |
| 利益剰余金 | 14,761,556 | 15,635,473 |
| 自己株式 | △586,718 | △565,150 |
| 株主資本合計 | 17,552,116 | 18,470,398 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 36,915 | 137,152 |
| 為替換算調整勘定 | 31,757 | △2,484 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 6,391 | 5,757 |
| その他の包括利益累計額合計 | 75,063 | 140,425 |
| 純資産合計 | 17,627,179 | 18,610,823 |
| 負債純資産合計 | 32,736,188 | 33,370,571 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------------|--|--|
| 売上高 | 59,690,852 | 67,439,996 |
| 売上原価 | 50,552,605 | 56,632,973 |
| 売上総利益 | 9,138,247 | 10,807,023 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造運搬費 | 559,941 | 514,913 |
| 給料手当及び賞与 | 2,519,896 | 2,856,573 |
| 株式報酬費用 | 34,989 | 51,000 |
| 法定福利費 | 439,099 | 417,231 |
| 退職給付費用 | 139,312 | 134,380 |
| 賃借料 | 427,837 | 320,499 |
| 減価償却費 | 191,572 | 187,135 |
| 貸倒引当金繰入額 | △439 | △1,213 |
| 賞与引当金繰入額 | 459,936 | 508,733 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 211,000 | 320,000 |
| その他 | 1,103,324 | 1,098,649 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 6,086,471 | 6,407,904 |
| 営業利益 | 3,051,775 | 4,399,119 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 868 | 1,158 |
| 受取配当金 | 17,636 | 32,825 |
| 仕入割引 | 262,760 | 289,654 |
| 為替差益 | 23,041 | 41,187 |
| その他 | 30,273 | 21,257 |
| 営業外収益合計 | 334,581 | 386,082 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,703 | 14,403 |
| 手形売却損 | 2,395 | 1,403 |
| 投資事業組合運用損 | - | 7,578 |
| リース解約損 | 3,497 | 366 |
| 貸倒引当金繰入額 | - | 300 |
| その他 | 3,389 | 4,226 |
| 営業外費用合計 | 18,986 | 28,279 |
| 経常利益 | 3,367,370 | 4,756,923 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 1,418 | - |
| リース債務取崩益 | 108,746 | - |
| 在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益 | - | 50,765 |
| 特別利益合計 | 110,164 | 50,765 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,177 | 26,932 |
| 減損損失 | 10,474 | 5,307 |
| 特別退職金 | 23,024 | - |
| 特別損失合計 | 34,676 | 32,240 |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,442,858 | 4,775,448 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,205,388 | 1,477,363 |
| 法人税等調整額 | △104,795 | △11,411 |
| 法人税等合計 | 1,100,592 | 1,465,951 |
| 当期純利益 | 2,342,265 | 3,309,496 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,342,265 | 3,309,496 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 2,342,265 | 3,309,496 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △61,689 | 100,237 |
| 為替換算調整勘定 | 24,208 | △34,242 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,021 | △633 |
| その他の包括利益合計 | △35,459 | 65,361 |
| 包括利益 | 2,306,806 | 3,374,858 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 2,306,806 | 3,374,858 |
| 非支配株主に係る包括利益 | - | - |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,819,230 | 1,541,190 | 13,530,310 | △604,973 | 16,285,757 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,111,020 | | △1,111,020 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,342,265 | | 2,342,265 |
| 自己株式の処分 | | 16,858 | | 18,255 | 35,113 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | 16,858 | 1,231,245 | 18,255 | 1,266,358 |
| 当期末残高 | 1,819,230 | 1,558,048 | 14,761,556 | △586,718 | 17,552,116 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|--------------|------------------|-------------------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 98,604 | 7,549 | 4,369 | 110,523 | 16,396,280 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △1,111,020 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 2,342,265 |
| 自己株式の処分 | | | | | 35,113 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △61,689 | 24,208 | 2,021 | △35,459 | △35,459 |
| 当期変動額合計 | △61,689 | 24,208 | 2,021 | △35,459 | 1,230,899 |
| 当期末残高 | 36,915 | 31,757 | 6,391 | 75,063 | 17,627,179 |

当連結会計年度(自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,819,230 | 1,558,048 | 14,761,556 | △586,718 | 17,552,116 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,435,578 | | △2,435,578 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 3,309,496 | | 3,309,496 |
| 自己株式の処分 | | 22,796 | | 21,567 | 44,364 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | 22,796 | 873,917 | 21,567 | 918,281 |
| 当期末残高 | 1,819,230 | 1,580,845 | 15,635,473 | △565,150 | 18,470,398 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|--------------|------------------|-------------------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 36,915 | 31,757 | 6,391 | 75,063 | 17,627,179 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △2,435,578 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 3,309,496 |
| 自己株式の処分 | | | | | 44,364 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 100,237 | △34,242 | △633 | 65,361 | 65,361 |
| 当期変動額合計 | 100,237 | △34,242 | △633 | 65,361 | 983,643 |
| 当期末残高 | 137,152 | △2,484 | 5,757 | 140,425 | 18,610,823 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,442,858 | 4,775,448 |
| 減価償却費 | 191,572 | 221,731 |
| 減損損失 | 10,474 | 5,307 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 215,803 | 60,250 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 140,300 | 109,000 |
| 役員株式給付引当金の増減額 (△は減少) | 17,157 | 36,853 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △29,866 | △22,297 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △439 | △913 |
| 受取利息及び受取配当金 | △18,505 | △33,983 |
| 支払利息 | 9,703 | 14,403 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △1,418 | - |
| 有形固定資産除却損 | 1,177 | 77 |
| リース債務取崩益 | △108,746 | - |
| 特別退職金 | 23,024 | - |
| 在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益 | - | △50,765 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △4,041,432 | △12,874 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,118,912 | △384,474 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,227,584 | △783,274 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | △71,962 | 317,793 |
| その他 | 105,366 | 162,539 |
| 小計 | 993,738 | 4,414,822 |
| 利息及び配当金の受取額 | 18,289 | 33,764 |
| 利息の支払額 | △9,638 | △14,395 |
| 法人税等の支払額 | △576,175 | △1,536,676 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 426,213 | 2,897,515 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △829,655 | △791,385 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △69,369 | △66,713 |
| 有形固定資産の除却による支出 | - | △26,855 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △26,005 | △24,556 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 36,329 | - |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △6,921 | △1,666 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 188,822 | 13,199 |
| 定期預金の預入による支出 | △11,000 | △11,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 21,000 | 11,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △696,799 | △897,977 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 2,000,000 | - |
| 長期借入れによる収入 | - | 500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △354,084 | △116,544 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △37,036 | △32,251 |
| 配当金の支払額 | △1,111,525 | △2,436,318 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 497,353 | △2,085,113 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 23,501 | 16,814 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 250,268 | △68,761 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,886,920 | 6,137,188 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,137,188 | 6,068,427 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。この変更による連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新規事業の開始について)

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から、もの造り機能の強化及び顧客要求事項に対応するため、大和工場(宮城県黒川郡)において半導体製造装置向けアルミフレームの組立等に関する事業を開始いたしました。これに伴い、連結貸借対照表の商品を第1四半期連結会計期間より棚卸資産に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの事業セグメントは、当社の構成単位のうち分離した財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として電機・電子部品の販売及び半導体製造装置向けのアルミフレームの組立等を行っております。

したがって、当社グループは、「電機・電子部品販売事業」及び「製造事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「電機・電子部品販売事業」は、主にFA機器、電子・デバイス機器、情報・通信機器、電設資材の販売を行っております。

「製造事業」は、主に半導体製造装置向けアルミフレームの組立等を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度まで「電機・電子部品販売事業」の単一セグメントとしておりましたが、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、もの造り機能の強化及び顧客要求事項に対応するため、大和工場（宮城県黒川郡）において半導体製造装置向けアルミフレームの組立等を開始いたしました。

これに伴い、報告セグメントを「電機・電子部品販売事業」及び「製造事業」の2つの区分へ変更しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度は、1つに集約された「電機・電子部品販売」事業セグメントを単一のセグメントとしており、報告セグメントは開示しておりません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | |
|-----------------------|-------------|----------|------------|
| | 電機・電子部品販売事業 | 製造事業 | 計 |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 67,258,766 | 181,230 | 67,439,996 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 67,258,766 | 181,230 | 67,439,996 |
| セグメント利益又は損失(△) | 4,511,267 | △112,148 | 4,399,119 |
| セグメント資産 | 32,750,398 | 620,172 | 33,370,571 |

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 当社グループは、前連結会計年度まで「電機・電子部品販売事業」の単一セグメントとしておりましたが、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、もの造り機能の強化及び顧客要求事項に対応するため、大和工場（宮城県黒川郡）において半導体製造装置向けアルミフレームの組立等を開始いたしました。これに伴い、報告セグメントを「電機・電子部品販売事業」及び「製造事業」の2つの区分へ変更しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 主要な顧客ごとの情報

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|----------------|-------------|-------------|
| 東京エレクトロン宮城株式会社 | 9,117,022千円 | 電機・電子部品販売事業 |

なお、当社グループは、上記顧客のグループ会社である東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社、東京エレクトロン九州株式会社と取引を行っており、同顧客グループの設備投資の動向や生産計画の変動等は、当社グループの経営成績及び財政状況等に影響を与える可能性があります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 主要な顧客ごとの情報

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|----------------------------|-------------|---------------------|
| 東京エレクトロン宮城株式会社 | 9,182,442千円 | 電機・電子部品販売事業 製造事業 |
| 東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社 | 7,676,563千円 | 電機・電子部品販売事業 |

なお、当社グループは、上記顧客のグループ会社である東京エレクトロン九州株式会社と取引を行っており、同顧客グループの設備投資の動向や生産計画の変動等は、当社グループの経営成績及び財政状況等に影響を与える可能性があります。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,261.67円 | 1,329.89円 |
| 1株当たり当期純利益 | 167.82円 | 236.74円 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 2,342,265 | 3,309,496 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円) | 2,342,265 | 3,309,496 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 13,956,612 | 13,979,305 |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度末 (2022年3月31日) | 当連結会計年度末 (2023年3月31日) |
|------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 17,627,179 | 18,610,823 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | — | — |
| (うち新株予約権(千円)) | (—) | (—) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 17,627,179 | 18,610,823 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株) | 13,971,313 | 13,994,213 |

4. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度107千株、当連結会計年度102千株)。
また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度108千株、当連結会計年度104千株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 仕入及び販売の状況

仕入実績

| 品目名 | 電機・電子部品販売事業 | | 製造事業 | | 合計 | |
|-----------|-------------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|
| | 金額 (千円) | 前年同期比 (%) | 金額 (千円) | 前年同期比 (%) | 金額 (千円) | 前年同期比 (%) |
| F A機器 | 36,225,717 | 16.4 | — | — | 36,225,717 | 16.4 |
| 情報・通信機器 | 4,073,725 | △24.9 | — | — | 4,073,725 | △24.9 |
| 電子・デバイス機器 | 6,854,913 | 11.6 | — | — | 6,854,913 | 11.6 |
| 電設資材 | 9,636,739 | 7.4 | — | — | 9,636,739 | 7.4 |
| その他 | — | — | 137,571 | — | 137,571 | — |
| 合計 | 56,791,095 | 9.9 | 137,571 | — | 56,928,667 | 10.2 |

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 製造事業は、第1四半期連結会計期間より開始したため、前年同期比は記載しておりません。

販売実績

| 品目名 | 電機・電子部品販売事業 | | 製造事業 | | 合計 | |
|-----------|-------------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|
| | 金額 (千円) | 前年同期比 (%) | 金額 (千円) | 前年同期比 (%) | 金額 (千円) | 前年同期比 (%) |
| F A機器 | 41,168,679 | 18.0 | — | — | 41,168,679 | 18.0 |
| 情報・通信機器 | 5,304,604 | △12.3 | — | — | 5,304,604 | △12.3 |
| 電子・デバイス機器 | 8,680,180 | 14.0 | — | — | 8,680,180 | 14.0 |
| 電設資材 | 12,105,302 | 8.6 | — | — | 12,105,302 | 8.6 |
| その他 | — | — | 181,230 | — | 181,230 | — |
| 合計 | 67,258,766 | 12.7 | 181,230 | — | 67,439,996 | 13.0 |

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 製造事業は、第1四半期連結会計期間より開始したため、前年同期比は記載しておりません。

(2) 役員の変動

① 代表者の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

該当事項はありません。